議　　事　　録

会　議　名	令和６年第４回千種警察署協議会（定例会）
日時・場所	令和６年11月27日（水） 午後３時から午後５時までの間 千種警察署　講堂
出　席　者	１　委員 伊東　洋平　会長　黒木　真知子　副会長 西垣　智康　副会長　堀　仁美　委員 北川　則子　委員　高田　怜美　委員 ＬＥＬＥＩＴＯ委員　佐々木　昭雄　委員 渡邉　美穂　委員　難波　太一　委員 貝塚　琴美　委員 以上11名（定数12名） ２　警察署員 加藤　署長　稲垣　副署長 岩橋　警務課長　伊藤　会計課長 村田　生活安全課長　岩田　地域課長 川崎　刑事課長　石原　交通課長 加藤　警備課長 以上９名 ３　有識者等 なし
諮問事項等	区民の身近で発生する犯罪への対策について
答申等の概要	１　不審者情報や具体的な防犯対策等の様々な情報の提供 ２　赤色灯を点灯してのパトカーによる巡回の実施 ３　制服を見せる活動の推進
そ　の　他	次回開催予定　令和７年２月下旬

会議の経過及び発言の要旨
1　署長挨拶
2　各種報告
管内の交通事故発生状況(交通課長説明)
3　前回の答申に対する具体的施策の推進状況（交通課長説明）
(1) 諮問事項
自転車のヘルメット着用向上に向けた対策について
(2) 答申事項
ア　ヘルメット未着用者に対する指導啓発活動の推進
イ　企業や学校等と連携したヘルメット着用の定着化に向けた取組の推進
ウ　イベント等を活用した自転車ヘルメット着用に向けた効果的な広報啓
発活動の推進
(3) 推進施策
ア　答申事項アについて
始業式における全小学校見守り活動、全国交通安全運動期間中の一斉
大監視、「交通事故死ゼロの日」等のあらゆる活動に際して自転車への
指導・広報を実施した。
イ　答申事項イについて
(ｱ) 管内高校を着用促進モデル校に指定
管内の高校２校を自転車ヘルメット着用促進モデル校に委嘱し、啓
発ポスターの作成や意識調査アンケートを実施した。
(ｲ) 保育園・幼稚園等の保護者に対する取組
園児から保護者に対し、園児直筆コメントを添えたヘルメット着用

記録者	警 務 係 長

会議の経過及び発言の要旨
のお願い文を園児から保護者に手交した。
(ｳ) 官公庁や企業等における取組
自転車乗降時に目につくよう、駐輪場にポスターを貼付し、ヘルメット着用に向けた広報を実施した。
ウ　答申事項ウについて
(ｱ) 高齢者に向け、「高齢者自転車ヘルメット着用リーダー」を委嘱し、ヘルメット着用の普及を図った。
(ｲ) 各種会議、イベントを活用しヘルメット着用の重要性について広報啓発活動を実施した。
(ｳ) ヘルメット着用を身近に感じてもらうため、ＳＮＳを活用し、ヘルメット着用について配信を実施した。
４　協議事項
区民の身近で発生する犯罪への対策について
５　発言の要旨
委員　・　防犯意識を高めることが重要となる。どのような被害が多発しているのか、それに対する具体的な対策について広報してもらいたい。（３人の委員から同様の発言がなされた）
委員　・　防犯カメラの設置及び防犯カメラが作動していることを周知するステッカーの掲示を推進することが犯罪抑止に効果があるのではないか。（２人の委員から同様の発言がなされた）
委員　・　侵入盗に対しては、家の中に人がいることをアピールすることが防犯につながる。ラジオをつけて外に声が聞こえるようにしておく

記録者	警　務　係　長

会議の経過及び発言の要旨	
	とよい。
	・　一般の人は１１０番通報して良いのか迷ってしまうことが多い。
	不安を感じたときには１１０番するように広報をしてもらいたい。
	（２人の委員から同様の発言がなされた）
	・　地域のイベント等、身近なところで警察官から直接講話をしても
	らえると意識が高まる。
委員	・　地域住民で毎月防犯パトロールを実施している。地域住民を集め
	て自分たちで防犯に取り組み、地域の目を光らせておくことが大事
	である。
委員	・　ガラスを割られ侵入されたことがあり、とても怖い思いをした。
	最近は悪い人というのがわかりにくい。「受け子」や「掛け子」
	が捕まった等というニュースを見るとごく普通の見た目の人が捕ま
	っていたりする。捕まった人も誰かに利用されていただけという話
	もあり、誰が悪いのかわからず、漠然とした不安があるので、それ
	を払拭してもらいたい。
委員	・　防犯カメラはどんな犯罪に対しても犯罪抑止の効果があり、捜査
	にも効果があり非常に有効。名古屋市では防犯カメラの設置への補
	助金制度を始めている。防犯カメラの電気代についても補助金の制
	度を用意している。
	千種区内でも学区によって設置数に大きな差がある。警察からも
	地域と連携して設置を進めてもらいたい。また、設置する際もどの
	ように設置すると効果的なのか指導してもらいたい。

記録者	警　務　係　長

会議の経過及び発言の要旨	
委員	・　パトカーが赤色灯をつけてパトロールしているのを見ると地域住民の安心につながる。（２人の委員から同様の発言がなされた）
委員	・　マスクをしている人が増えている。配達員の人等もマスクをしたままインターホンを押してくるので、配達員の顔もはっきり見えず家族が不安に感じることがある。これに対して何か良い対策はないか。
警察	・　インターホン越しに身分証の提示を求め、身分証の顔写真等を確認してから対応すると良い。
委員	・　以前学区の防犯診断を実施してもらった。その際どのような点に注意すればよいのかを指導してもらえた。 　実際に自分が住んでいる地域で指導してもらえると、興味をもって防犯への意識を高めることができる。
委員	・　ＬＥＤの防犯灯が増えてきているが、ＬＥＤの特性なのか照らす範囲が狭く以前より暗く感じる。より広範囲を照らせる防犯灯に変更してもらいたい。
委員	・　防犯意識は高まってきていると感じる。 　職場に女子学生が多く、電車で痴漢被害に遭うことが多い。以前先制予防活動として対応してもらえて非常に心強かった。先制予防活動を積極的に推進してもらいたい。
委員	・　年配者だけで住んでいる世帯でも、子供の自転車を庭に置いたり、女性の一人暮らしの世帯でも男性の服を干しておく等、家族構成が予想されないような対策も効果的ではないか。

記録者	警　務　係　長

会議の経過及び発言の要旨
委員　・　闇バイト等、犯罪に加担させないための活動、犯罪をおこさせないための活動を推進してもらいたい。
6　答申
(1) 不審者情報や具体的な防犯対策等の様々な情報の提供
(2) 赤色灯を点灯してのパトカーによる巡回の実施
(3) 制服を見せる活動の推進
7　その他
次回の開催予定は、令和７年２月下旬とする。

記録者	警 務 係 長